



編集・印刷
独立行政法人国立印刷局

目次

(告 示)

- 退位礼正殿の儀を行われた件 (宮内庁六)
- 剣璽等承継の儀を行われた件及び即位後朝見の儀を行われた件 (同七)
- 日本国に帰化を許可する件 (法務一三)
- 外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法第七条の規定による承認をした件 (同一四)
- 外国弁護士による法律事務の取扱いに関する特別措置法第十六条第一項の規定に基づき特定外国法を指定した件 (同一五)
- 国会議事堂等周辺地域及び外国公館等周辺地域の静穏の保持に関する法律に基づく告示 (外務一五)
- 国会議事堂、内閣総理大臣官邸その他の国の重要な施設等、外国公館等及び原子力事業所の周辺地域の上空における小型無人機等の飛行の禁止に関する法律第五条第一項、第二項及び第三項の規定に基づき対象施設の敷地等を指定する件 (同一六)
- 保安林の指定をする件 (農林水産二二八〜二四〇)

- 保安林の指定を解除する件 (同二四一〜二五四)
- (国会事項)
- (人事異動)
- 内閣 法務省
- (官庁報告)
- 官庁事項
- 旅券法第十九条の二第一項の規定に基づき一般旅券の返納命令に関する通知 (外務省)
- 法 務
- 公証人任免 (法務省)
- (公 告)
- 諸事項
- 裁判所
- 相続、公示催告、失踪、除権決定、破産、免責、特別清算、再生関係特殊法人等
- 独立行政法人都市再生機構、厚生年金基金清算終了・清算人退任関係会社その他

告 示

九 ○ 宮内庁告示第六号
平成三十一年四月三十日午後五時、宮中において、退位礼正殿の儀を行われた。
天皇陛下のおことば及び内閣総理大臣の国民代表の辞は、次のとおりである。

八 おことば
今日をもち、天皇としての務めを終えることになりました。
ただ今、国民を代表して、安倍内閣総理大臣の述べられた言葉に、深く謝意を表します。
即位から三十年、これまでの天皇としての務めを、国民への深い信頼と敬愛をもつて行い得たことは、幸甚なことでした。象徴としての私を受け入れ、支えてくれた国民に、心から感謝します。
明日から始まる新しい令和の時代が、平和で実り多くあることを、皇后と共に心から願ひ、ここに我が国と世界の人々の安寧と幸せを祈ります。

七 内閣総理大臣の国民代表の辞
謹んで申し上げます。
天皇陛下におかれましては、皇室典範特例法の定めるところにより、本日をもちまして御退位されます。

六 平成の三十年、「内平らかに外成る」との思いの下、私たちは天皇陛下と共に歩みを進めてまいりました。この間、天皇陛下は、国の安寧と国民の幸せを願われ、一つ一つの御公務を、心を込めてお務めになり、日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たしてこられました。
我が国は、平和と繁栄を享受する一方で、相次ぐ大きな自然災害など、幾多の困難にも直面しました。そのような時、天皇陛下は、皇后陛下と一緒に、国民に寄り添い、被災者の身近で励まされ、国民に明日への勇気と希望を与えてくださいました。

五 本日ここに御退位の日を迎え、これまでの年月を顧み、いかなる時も国民と苦楽を共にされた天皇陛下の御心に思いを致し、深い敬愛と感謝の念を今一度新たに次第であります。

四 私たちは、これまでの天皇陛下の歩みを胸に刻みながら、平和で、希望に満ちあふれ、誇りある日本の輝かしい未来を創り上げていくため、更に最善の努力を尽くしてまいります。
天皇皇后両陛下には、末永くお健やかであらせられますことを願つてやみません。
ここに、天皇皇后両陛下に心からの感謝を申し上げます。皇室の一層の御繁栄をお祈り申し上げます。

三 令和元年五月二十二日
宮内庁長官 山本信一郎

二 ○ 宮内庁告示第七号
五月一日午前十時三十分、宮中において、剣璽等承継の儀を行われた。
五月一日午前十一時十分、宮中において、即位後朝見の儀を行われた。
天皇陛下のおことば及び内閣総理大臣の国民代表の辞は、次のとおりである。

一 おことば
日本国憲法及び皇室典範特例法の定めるところにより、ここに皇位を継承しました。
この身に負つた重責を思うと肅然たる思いがします。
顧みれば、上皇陛下には御即位より、三十年以上の長きにわたり、世界の平和と国民の幸せを願われ、いかなる時も国民と苦楽を共にされながら、その強い御心を御自身のお姿でお示しになりつつ、一つ一つのお務めに真摯に取り組んでこられました。上皇陛下がお示しになった象徴としてのお姿に心からの敬意と感謝を申し上げます。
ここに、皇位を継承するに当たり、上皇陛下のこれまでの歩みに深く思いを致し、また、歴代の天皇のなさりようを心にとどめ、自己の研鑽に励むとともに、常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たすことを誓ひ、国民の幸せと国の一層の発展、そして世界の平和を切に希望します。